

開催月日 : 令和6年 9月25日(水) 14:00～15:00

第1回 定期巡回・随時対応型訪問介護看護
介護医療連携推進会議 議事録

主 催	グッドライフケア24(江東)
2024年度 第1回介護医療連携推進会議について	
1. 開会の挨拶及び出席者の自己紹介	
御多忙の中、ご出席いただき誠にありがとうございます。2024年度第1回介護医療連携推進会議をZoom(オンライン)にて開催致します。皆様、宜しくお願い致します。	
ご出席者の皆様から一言ずつ自己紹介をしていただく。出席者は以下のとおり。	
<出席者>	
江東区福祉部福祉課事業者指定係 小林 様	
豊洲長寿サポートセンター 瀧澤 様	
枝川長寿サポートセンター 山口 様	
ボンズシップ居宅介護支援 田宮 様	
グッドライフケア東京 藤田 直希(介護支援専門員)	
グッドライフケア訪問看護 石田 千昂	
グッドライフケア24 後藤 駿之介(管理者・計画作成責任者)	
2. 運営状況報告	
別紙のとおり2024年3月から2024年8月までの運営状況報告を行う。	
3月～8月末の時点で11名の方がサービスを利用されている。	
男女の比率はほぼ同率で、80代の方が4名と多い。	
要介護1の方のご利用がなく、要介護度3の中度者が6名と多い傾向にある。	
地域別では江東事業所近辺である豊洲、東雲、辰巳、塩浜に集中している。	
コール件数は6か月間で毎月1件から9件で推移しているが、実際に随時訪問している件数は少なく、誤報や随時対応(電話対応)で済むことが多い。随時訪問は6か月間で7度程。	
要介護度別の定期訪問回数について。	
要介護3の中度者が多い為、訪問回数も要介護3の方が多い。	
3. 新規利用者様のご紹介	
管理者より2024年3月から2024年8月までの新規利用者様の紹介を行う。	
別紙資料を参照とする。	

4. 外部評価報告、ご意見・ご感想・講評など
意見①:新規紹介で要介護5ですぐサービス終了になった方、その後別サービス提供はあったか？
回答①:元々他社介護が介入していたが、その頃から介護サービスに拒否があった。その為、今回も介護サービス自体に拒否が出てしまったため、医療で毎日訪問がある看護のみとなった。
意見②:要介護度が、前回よりも重くなったとあったが、現場のヘルパーの負担は増えたか？
回答②:介護士の負担は大きくなっているとは思っていない。要介護度の高い方はそれだけ訪問回数が多くなる傾向があり、介入者も増えるため、より包括的にケアが出来ていると実感がある。しかし、訪問者が増えるとケアの統一性等の新たな課題も出てきているため、コンスタントにカンファレンス等を開催し、課題解決に努める必要がある。
意見③:定期巡回を利用したことがなかったが、今回の事例を通して依頼する基準が出来た。
回答③:定期巡回サービスでは、他サービスと比較しても看護と介護の包括的なケアが期待できる。介護で生活リズム把握、看護で病気面でのケアが出来、ケアマネジャーとの連携も必須となっているため、ケアマネジャーの皆様にも他サービスと比較して利用者の潜在的ニーズに気づきやすいというメリットがある。
意見④:独居で認知症の事例を見て、そのような利用方法もあるのだと感心した。
回答④:定期巡回サービスの利点である、時間帯変更や随時訪問は、独居認知症の方のニーズに対応できていると感じている。
5. 閉会挨拶
以上を持ちまして第1回介護医療連携推進会議を閉会と致します。
御多忙の中、ご出席いただきまして誠にありがとうございました。
次回の会議は令和7年の3月を予定しています。
開催方法、開催日時は構成委員の皆さまに改めてご連絡致します。
